

8-5-6 C I M技術専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

委員会開催回数：9回

講習会：中止

(2) 主な内容

国土交通省が推進しているBIM/CIM (Building /Construction Information Modeling, Management) に関して、協会内で推進、普及することを目的として、「CIM推進に関わる情報技術調査」を行った。

例年開催している「CIM 講習会」については、新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮して令和2年度に引き続き令和3年度も中止とした。なお、令和4年度は新型コロナウイルス感染対策を考慮しつつ再開を目指す。

a) CIM 推進に関わる情報技術調査

令和元年度は、今後のCIM 推進に関わる情報技術に関して以下のとおり調査と意見交換を実施した。

① CIM 対応状況調査

専門委員会の委員各社を対象に CIM 対応状況についてアンケート調査を実施し、意見交換を行った。

② 3次元点群データの活用等について調査

3次元点群データの解析・共有サービスや、点群データの公開状況等について、調査・意見交換を実施した。

③ その他 CIM 推進に関わる情報技術

CIM 推進に有効と思われる情報技術について継続的に意見交換を実施した。

b) 令和4年度のCIM 講習会開催検討

CIM 講習会の開催方式については、パソコン操作を伴う実技形式の講習会であることから、オンラインでの開催の場合、参加者の通信環境が一律ではないため進行が困難であり、学習効果も低いものと考えられる。よって、令和4年度も集合形式での実施を計画した。ただし、開催可否については、実情を踏まえた上で再検

討する。

2. 次年度の活動について

本年度の活動を継続し、① CIM 推進に関わる情報技術調査、② CIM ハンズオン講習会の開催（実施可否は再検討）、③ 関連する対外委員会への参加を行う。

なお、① CIM 推進に関わる情報技術調査については、今年度の議論に基づき以下の次項を中心に調査を進める予定である。

- ・デジタルツインの今後、将来像
- ・3D プリンターの活用
- ・ゲームエンジンの活用
- ・各種プラットフォームでのデータ提供と API による連携の現状
- ・ソフトウェアのライセンス形態、互換ソフトウェア、バージョン互換
- ・クラウド利用の現状

(C I M技術専門委員会委員長 雫石 和利)